



進んでいます！エコタウン！！

廃プラスチックチック利用新建材製造工場が完成

問リサイクル対策室 ☎ 49 3111 (内線 371)

「エコタウン」とは、ゼロ・エミッション構想を基本とした、自然に優しい環境と調和したまちづくりが進められている地域のことです。

本市を含む県北18市町村と県が進めている「秋田県北部エコタウン計画」は、平成11年11月に国の承認を受け積極的に事業化が図られています。すでに本市では、家電リサイクル工場（株エコリサイクル）とコンポストセンターが平成13年から操業を開始しています。このような中、昨年の12月10日、秋田県北部エコタウン計画の中核事業である「廃プラスチック利用新建材製造事業」を担う秋田ウッド株式会社（代表取締役・三浦清久氏）の工場が松原地内に完成しました。資源循環型社会を目指す本市の取り組みは、着実に具体化されています。

ゼロ・エミッション構想
産業から出るすべての廃棄物を他の分野の原料として活用し、廃棄物をゼロにすることを
目指す構想



秋田ウッド(株)工場内部